

# みんなの顔が見えるまち

人権シリーズ vol.22



## 「過去の私と今の私」

ーいじめについてー



国見中学校3年  
森田 綾乃

私は、いじめについてこう思いま  
す。いじめの原因は、たくさん考え  
られますが、いちばんに友達のこと  
が多いと思います。私も一年生の時  
に仲間はずしにありました。それは  
部活内でのことでした。私は、自分  
が何をしたのかがわからないまま、  
無視をされたり、悪口を言われたり  
して輪の中に入れてもらえません  
でした。

ある時私は友達に言われました。  
「あなたのそういうところが好かん。」  
私は自分のしたことをふりかえっ  
てみたら気づかないうちに相手に嫌  
なことをしていたのがわかりまし  
た。私はそれに気づくまでは、「な  
んで私がこんな目にあわなきゃい  
けないのだろう」と思っていました。  
だから私はいじめには絶対原因があ  
るのだと思いました。

でも、原因もなく、何もしていな  
いののに、いじめられている子がいま  
ました。そして私は今度はいじめの側  
にまわってしまいました。

私はその子と仲がよかったのになに：  
「自分がいじめられたくないから」と  
いうのがいじめの側にまわった理由  
でした。私は、自分が前いじめられ  
てつらい思いをしているのに、自分  
もそんなつらい思いをさせているの  
がわかっていのに。いじめの側に  
いるとそんなことなんか忘れてしま  
うのです。私はその子に対して、わ  
ざと聞こえるように悪口を言った  
り、無視をしたりしていました。で  
も、また私がいじめにあうときがき  
たのです。その時に自分のしていた  
ことが改めてわかりました。「う  
ち、なんでこんな嫌なことを友達に  
していたのだろう」と。自分がされ  
て嫌なことを相手にしていたのがわ  
かりました。

ある日私が一人していると、前にい  
じめていた子が私に

「どうしたん？ なんかあったん  
なら言ってみよ。」

と私に言ってきました。私は、  
「私が前いじめていたのになんで話  
しかけてくれてるんだろ」と思  
いました。私はそう話しかけられた  
時、自分のしたことの恥ずかしさが  
こみあげ、罪悪感で泣いてしまいま  
した。その子は、泣き終わるまで一  
緒にいてくれました。私はそれ以来  
その子を親友と呼べるほど仲よくな  
りました。

私はもう、いじめはやめようと思  
いました。もし嫌なことがあれば本

人に直接言って話し合おうと思いま  
した。ただ、ムカツクからと  
か、めだつているとか、男子の前で  
ブリッ子だからとかいう理由で簡単  
にいじめをするのはやめようと思  
いました。私はその子のおかげで、い  
じめについてよく考えさせられたと  
思います。  
それからの私は、一人で悩んでい  
る人がいたら話しかけたり、嫌われ  
ている子がいても、無視したりせず  
話し合う、また話しあえば、わかっ  
てくれるし、自分の嫌なところも  
言ってくれるし、その嫌われている  
子ともしっかり仲よくなれるのです。た  
だ、自分が思ったとおりに行動する  
と相手を傷つけたり、嫌な思いをさ  
せてしまうことがわかりました。私  
はいじめをもう絶対にしないと心に

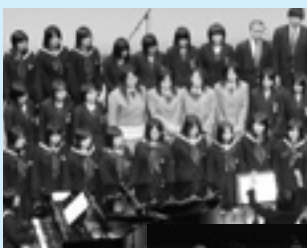
誓いました。いじめがなければ、み  
んなで楽しく遊べるし、たくさんの  
いい思い出ができます。たつた一度  
しかない人生なので、いじめなどで  
嫌な思いをするよりたくさんさんのこ  
とを学び、たくさんさんの子と仲よく楽し  
く過ごした方がいいと思いました。  
自分がされて嫌なことは相手にし  
ないこと、自分の行動をよく考える  
こと、相手の気持ちを考えることを  
決めました。いじめの原因や問題が  
あるけど、第一に、相手のことを考  
えること、していいこと悪いことを  
自分で判断していきたいです。今、  
私のまわりにいる大切な友達を失わ  
ないために、ちゃんと話し合い、み  
んなと仲よくしたいと思います。み  
んなで楽しい学校生活を送りたいと  
思います。

## 心にぬくもりを

### 第6回 国東市高校生人権コンサート

2月14日(木)、アストくにさきで市内3高校  
の生徒ほか約600人が参加し高校生人権コン  
サートが開催されました。

『わたし色』『あなた色』をテーマに、高  
校生自身による詩の朗読や3校の生徒合同に  
よる合唱、また人権バンド「ぬくもり工房I  
cCAK(熊本市)」のコンサートが行われ、  
人権について考える一日になりました。



3校合同の合唱(左)と、  
人権バンド「ぬくもり工  
房IcCAK」の演奏(下)

